

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策として、年に2回防災訓練しか実施できていない。地震、水害等の自然災害や感染症による非常災害時の対策と訓練等の実施が急務である。また、夜間に行っている防災チェックリストも点検項目の表記があいまいなので改善を要す。	①自然災害(地震・水害等)に備えた訓練を実施し、避難方法を全職員が習得する。 ②感染症による非常災害への訓練と準備 ③夜間の防災チェックリストの見直し	①自然災害に対する机上訓練の実施、職員への周知徹底を行う ②備蓄リストの再点検、不足物の準備 ③感染症に関する定期的な研修、実習の開催 ④非常災害時の業務継続計画の策定を急ぐ ⑤夜間の防災点検項目ご具体的に書き出す	6ヶ月
2	2	高齢者施設では、3年間のコロナ禍による閉鎖的な生活をもたらした弊害(身体的衰え、心理・精神的衰え・社会性の衰え)が顕著である。新型コロナウイルス感染症5類引き下げを機に、新しい形での入所者の社会的支援に取り組む事が必要である。	①Withコロナへの転換～コロナもカラダもイキイキを取り戻そう	①福祉課の協力のもと、傾聴ボランティア(認知)の受け入れや健軍商店街でのお茶会等の開催 ②感染対策を施し、対面での面会許可 ③地域行事への参加、園児との交流の検討 ④認知症カフェの再開	3ヶ月
3	1	コロナ禍や多忙な業務にかまけて、事業所の理念の振り返りができていない。	①理念の振り返りの機会を作る ②一人ひとりが理念に沿った支援を実践できる	①理念について学びの機会を設ける ②理念への共感を得るため日々のケアに紐づけて発信する ③理念の実践状況を人事や評価制度に取り入れる。また、管理者が理念の有言実行をもってみせる	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。